


アジア、オセアニア のコメ需給動向

2010年5月13日
農林水産政策研究所
玉井哲也

目次

1. アジア、オセアニアのコメ産地の概要
 2. 中国
 3. 韓国
 4. タイ
 5. ベトナム
 6. 5大コメ生産国の輸出価格等
 7. オーストラリア
- 

1. アジア、オセアニアのコメ産地の概要

○米を主食とするアジアには、世界のコメの生産・消費の過半が集中。

第1表 各国のコメ需給(2007-08年度)

	百万トン				
	生産量	消費量	輸入量	輸出量	純輸出入量
中国	130.22	127.45	0.30	0.97	0.67
インド	96.69	90.47	0.00	4.65	4.65
ベトナム	24.38	19.40	0.30	4.65	4.35
タイ	19.30	9.60	0.01	10.01	10.00
韓国	4.41	4.67	0.25	0.00	▲0.25
オーストラリア	0.02	0.16	0.14	0.09	▲0.05
世界計	433.89	428.50	29.20	31.14	-

資料: 米国農務省WASDE. 豪州ABARE, Commodity Statistics.

注. 精米ベース.

○ 世界食料需給モデルによる予測

消費は増加するがそれに見合う生産量増加があり、全体として需給・輸出入バランスに大きな変化はない。

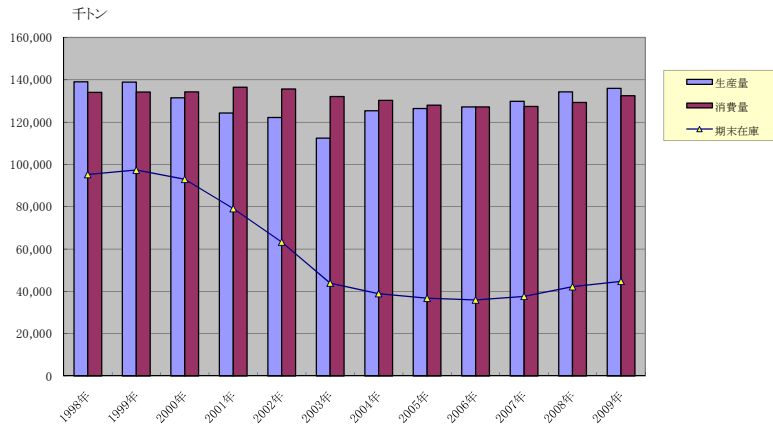
第2表 コメに関する地域別予測結果

	(単位: 百万t)					
	生産量		消費量		純輸出入量	
	2007年	2019年	2007年	2019年	2007年	2019年
世界合計	432.7	519.1	428.1	519.6	0.0	0.0
北米	6.4	8.4	4.6	5.2	2.0	3.2
中南米	16.6	21.9	18.2	21.3	-1.5	0.6
オセアニア	0.1	0.1	0.4	0.5	-0.2	-0.4
アジア	391.0	464.0	370.8	447.6	15.1	16.8
中東	2.5	3.0	8.2	10.2	-5.7	-7.2
欧州	2.3	3.4	4.1	4.3	-1.8	-1.0
アフリカ	13.9	18.4	21.7	30.3	-7.8	-11.9
(参考)						
中国	130.8	139.1	128.0	137.4	0.8	1.8
タイ	19.0	22.4	9.6	11.0	9.5	11.4
ベトナム	23.7	30.8	19.1	23.8	4.4	7.0
インドネシア	36.5	43.3	36.5	44.3	-1.0	-1.0
インド	96.3	126.1	89.9	122.3	4.3	4.0
バングラデシュ	29.6	39.7	30.6	43.8	-1.3	-4.1

2. 中国

- 2000年以後在庫減少が進んだが、2004年以後は安定で推移

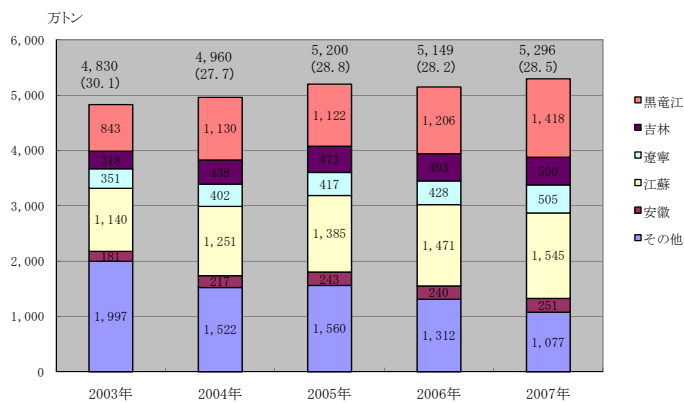
第1図 中国のコメ需給の推移



資料: Foreign Agricultural Service, Official USDA Estimates.
 注 1) 重量は精米。
 2) 年はアメリカ穀物年度。

- ジャポニカ米はコメ生産の3割を占め、特に黒竜江省と江蘇省に集中。

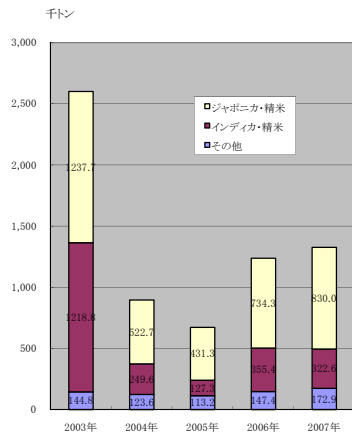
第2図 ジャポニカ米の生産量の推移



資料: 中国統計年鑑、中国食糧発展報告、各省統計年鑑、Promar、「近期江蘇粳稻米市場分析と予測」(http://www.aweb.com.cn 2006年4月30日)、「2005年粳稻市場分析」(http://www.szstv.com 2006年5月15日)、「2007年稲谷市場回顧と2008年展望」(http://www.51wl.com 2008年1月30日)。
 注 1) 2006年江蘇は、同地区でのモチ米生産量を前年同とした推定値。
 2) 合計生産量の下での()内の数値は、ジャポニカ米のコメ生産量に占める比率(%)。

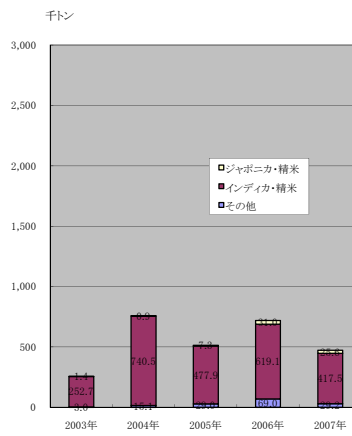
○ ジャポニカ米は輸出に重要な地位。その一方、輸入はわずか。

第3図 コメ輸出の推移



資料：中国海関統計年鑑。
注1) ジャポニカ・精米にはモチ米を含む。
注2) その他には、種子用モチ米、モチ米、玄米、砕米を含む。

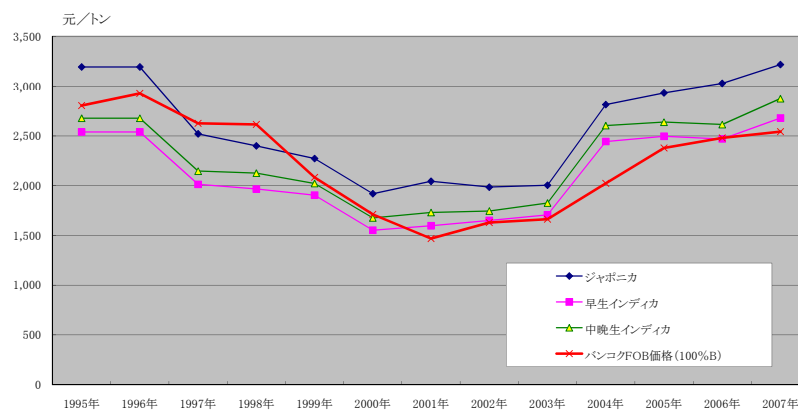
第4図 コメ輸入の推移



資料：中国海関統計年鑑。
注1) ジャポニカ・精米にはモチ米を含む。
注2) その他には、種子用モチ米、モチ米、玄米、砕米を含む。

○ 中国国内価格は、ジャポニカ米が最も高い。また、バンコクFOB価格と大差はなく、価格差による輸入圧力が生じるものではない。

第5図 中国のコメ価格の推移



資料：中国農業発展報告、中国統計年鑑。
注1) 国内価格は全国平均価格(精米)。
注2) バンコクFOB価格(100%B)はドル表示を各年の為替レートで元に換算した。

3. 韓国

- 韓国ではジャポニカ米を生産。
水田は耕地の6割を占め、コメは最も重要な農産品

第3表 韓国の稲作・コメの基本数値（2007年）

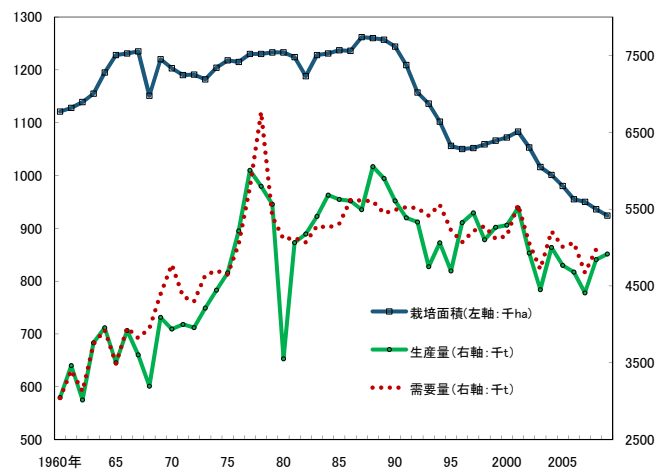
水田面積	水田が耕地に占める割合	水田が国土に占める割合	コメ生産量(精米)	単位面積当たりのコメの収量(粗穀)
106万9,932ha	60.1%	10.7%	440万7,743トン	630kg/10a
コメ輸入量(精米)	コメ輸入金額	コメ自給率	年間コメ消費量1人当たり	政府販売価格(精米、80kg)
28万トン	143百万ドル	92.5%	82.8kg	15万7,900ウォン

資料:『食品需給表』(韓国農村経済研究院)、『農林水産食品統計年報』(農林水産食品部)、『韓国統計年鑑』(統計庁).



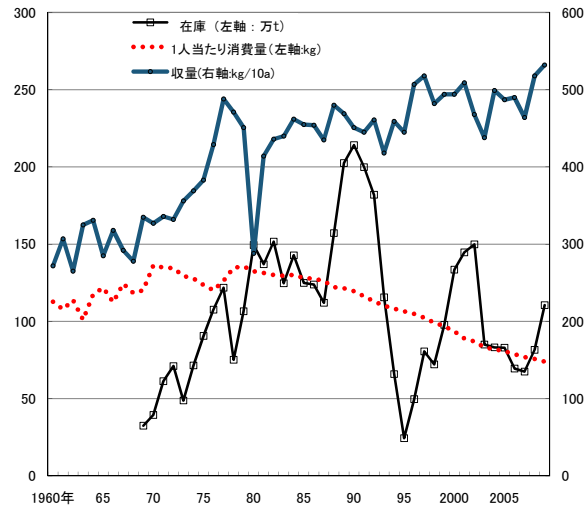
- 水田面積、栽培面積は1980年代後半をピークに減少。需要量はそれ以前から減少局面に。

第6図 コメの需給動向 (A) 生産と需要



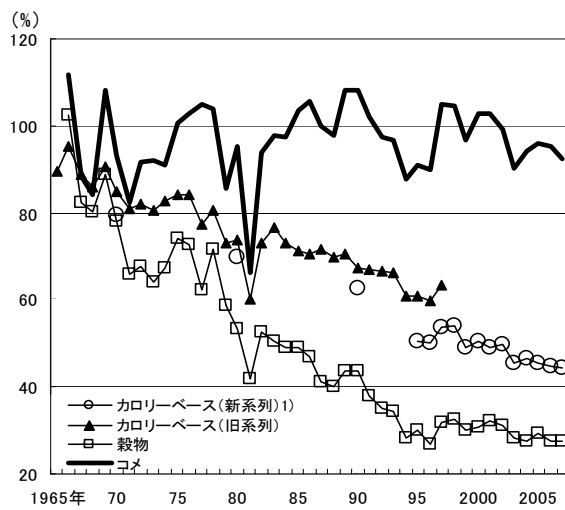
- 1人あたり消費量は、全体の需要よりも早く低下傾向に入り、1979年以後一貫して減少。

第6図 コメの需給動向 (B) 在庫と収量



- 食料自給率は急速に低下:1970年の79.5%→2007年44.3% (カロリーベース)。そのなかで、コメは国内自給に成功(自給率92.5%)

第7図 食料自給率



- コメの消費量は急速に減少している

第4表 食料消費に占めるコメの位置 (1人1日当)

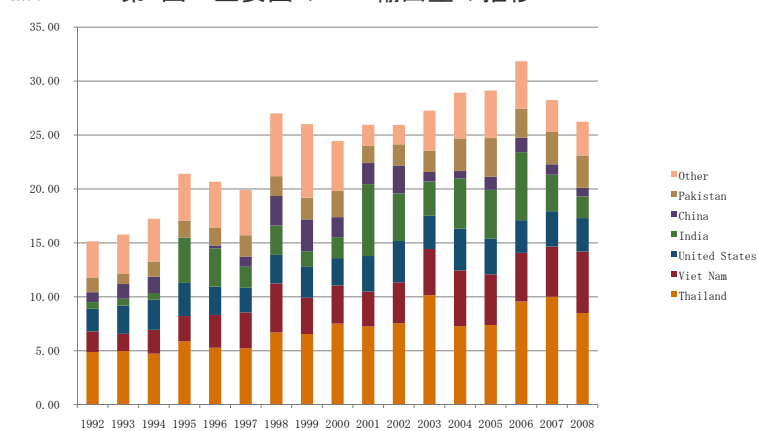
年度	韓 国		日 本	
	1979年	2007年	1962年	2007年
コメの供給熱量	1,266.56kcal(48.7%)	843.84kcal(28.49%)	1,137.4kcal(47.9%)	596.9kcal(23.4%)
総供給熱量	2,598.73kcal	2,966.68kcal	2,372.5kcal	2,551.3kcal
米の供給たんぱく質	24.21g(31.8%)	14.52g(14.6%)	20.1g(27.8%)	10.2g(12.4%)
総供給たんぱく質	76.23g	99.67g	72.4g	82.3g

資料: 韓国『食品需給表』(農村経済研究院),
日本『食料需給表』(農林水産省).

4. タイ

- 最大の輸出国。生産の急拡大は見込めないが、消費量が停滞することから、輸出余力は維持・拡大。
- ベトナム、パキスタン参入でコメ輸出の国際競争が激化。タイは高品質米の供給により競争力を維持

第8図 主要国のコメ輸出量の推移

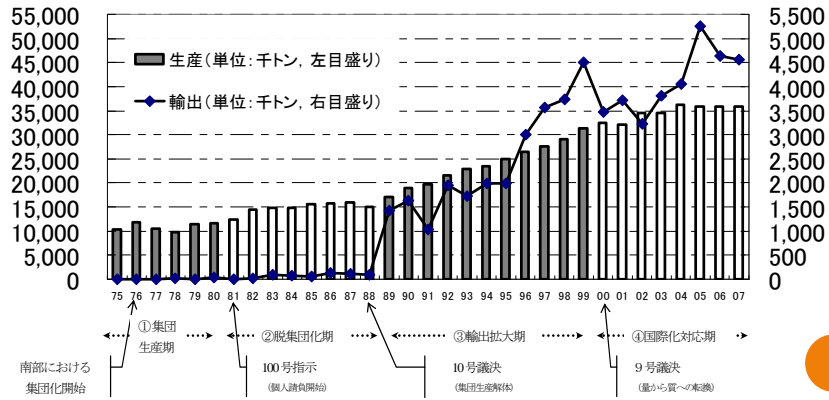


5. ベトナム

- 政策変化を反映し生産量・輸出量が拡大

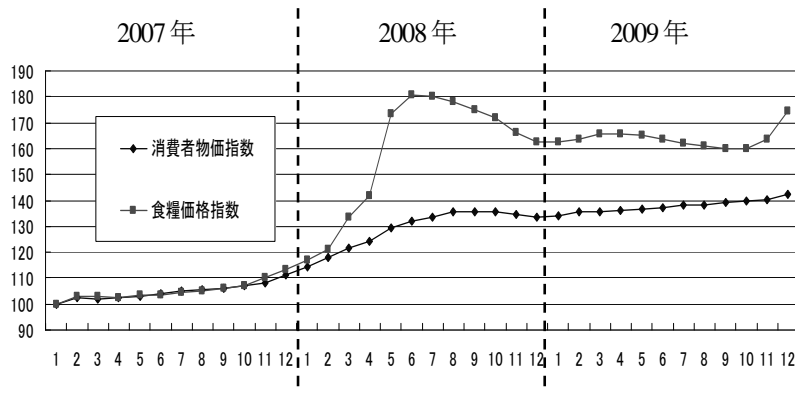
第9図 ベトナム戦争以降のコメの生産と輸出

(生産量は籾ベース、輸出量は精米ベース)



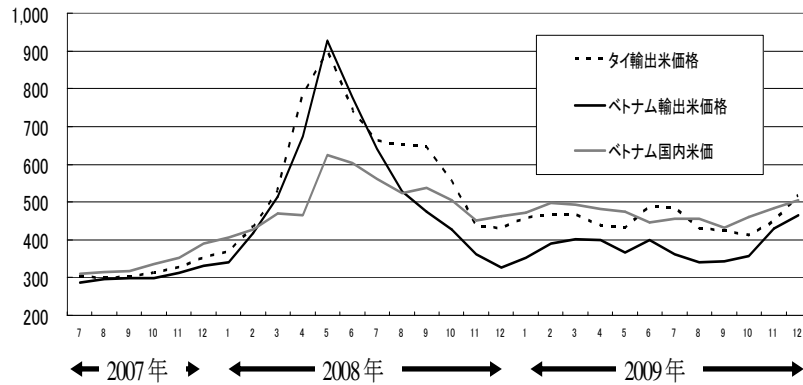
- 2008年、コメの国際価格急騰を受け、国内の食糧価格が急上昇

第10図 2007～09年におけるベトナム国内の物価上昇



- ベトナムの米価は国際価格と密接にリンク。輸出規制により国内米価は抑制された。

第11図 2007～08年におけるタイ輸出米価格・ベトナム輸出米価格・ベトナム国内米価 (米ドル/トン)



- ベトナムの農民は市場動向に敏感に反応

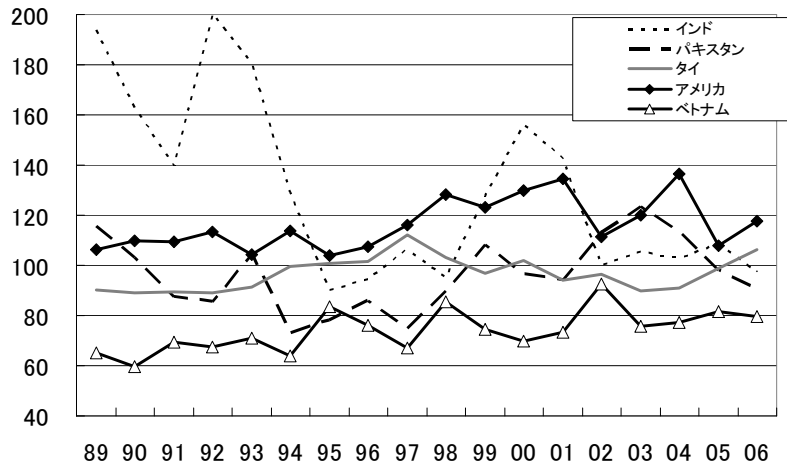
第5表 2007・09年におけるメコンデルタのコメ生産

		冬春作	夏秋作	ムア作	合計
作付	2007年	1,526	1,567	260	3,353
面積	2009年	1,549	2,019	254	3,822
生産	2007年	9,827	7,279	1,035	18,141
量	2009年	9,861	9,765	909	20,535

単位：作付面積は千ha，生産量は千トン。

6. 5大コメ輸出国の輸出価格等

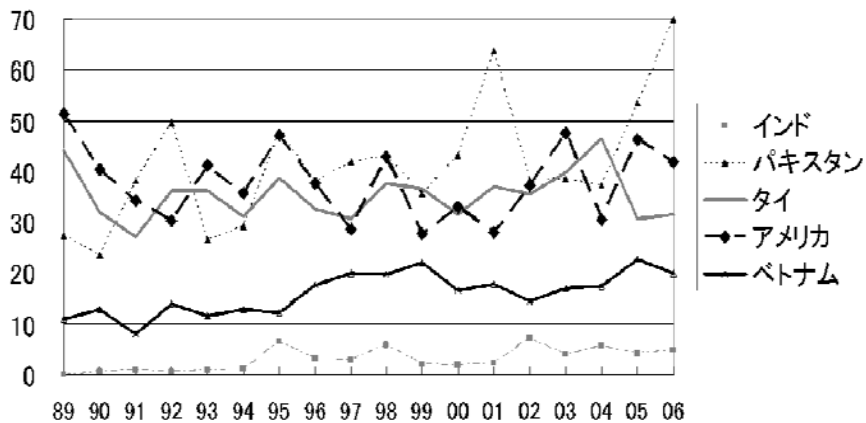
第12図 5大コメ輸出国のコメ輸出価格



注:各国の精米輸出単価(輸出金額/輸出量)をそれぞれの年の世界平均単価を基準(100)として指数表示.

○ ベトナムにおける輸出割合は増加し、自給中心から脱却しつつある。

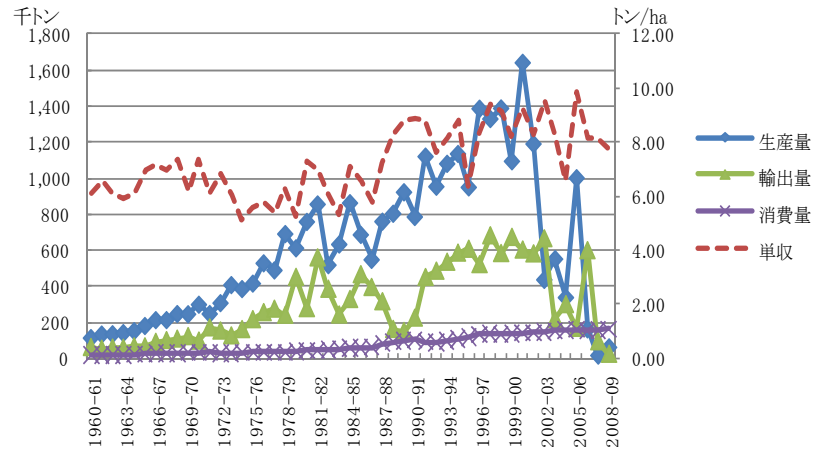
第13図 5大コメ輸出国における生産量に占める純輸出量の割合(%)



7. オーストラリア

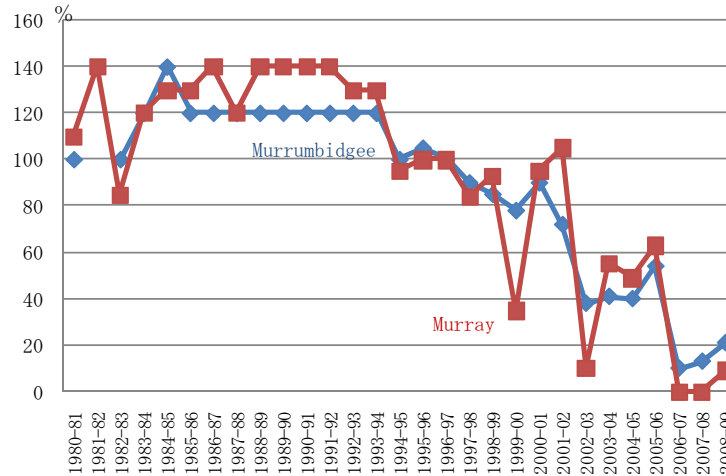
○ 生産等の状況:100万トン生産・60万トンの輸出から、急減

第14図 コメの生産量等の推移



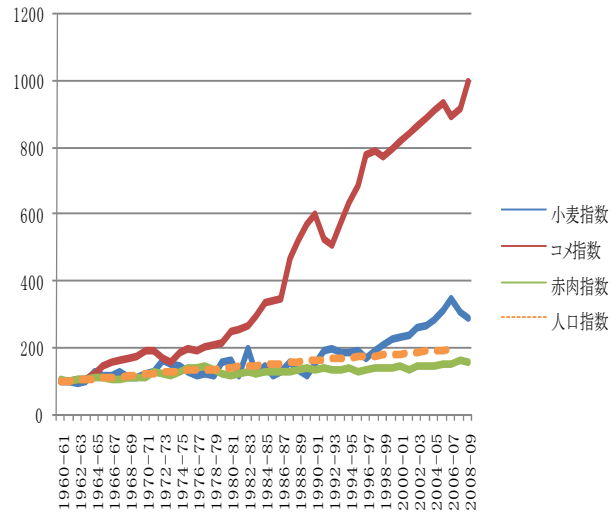
○ コメ生産急減の原因は用水不足

第15図 マランビジー及びマレー灌漑地区の水割当率の変化



○ 一方でコメ消費量は急増

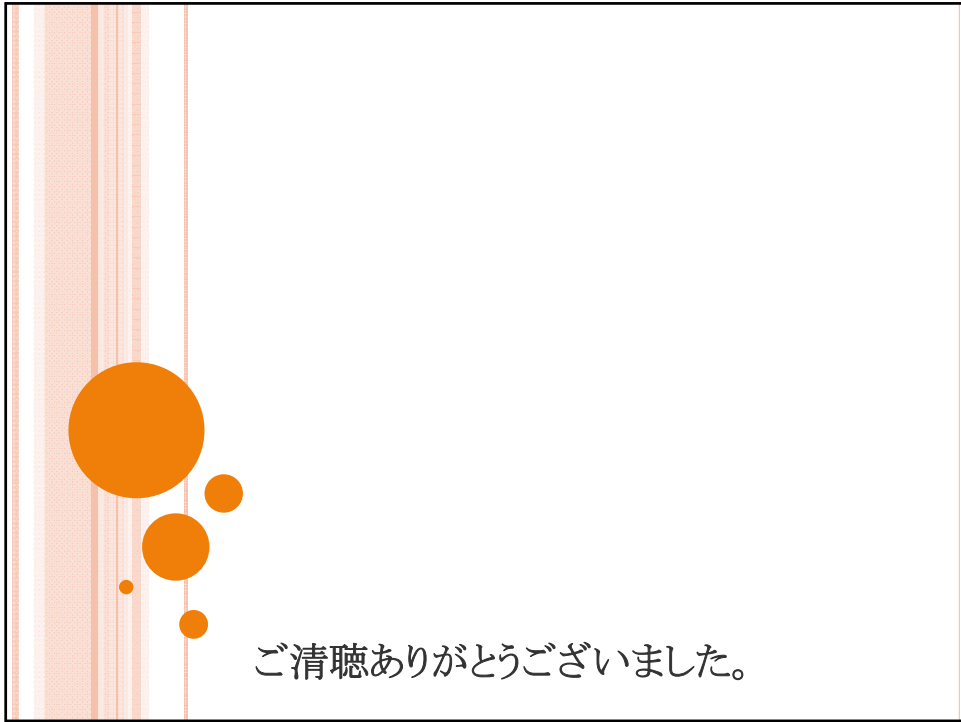
第16図 人口及び食料消費量の推移：指数



○ コメと他の灌漑作物との用水あたり生産額等の比較

第6表 作物別灌漑割合等 (2004-05年度) (千HA、ML、%、A\$m、A\$)

作物	農地面積	灌漑面積	灌漑水量	ha当水量	灌漑率	総生産額	灌漑生産額	ML当り生産額
合計	445,149	2,405	10,084,596	4.2	0.54	35,554.7	9,076	900
放牧用牧草	382,306	842	2,896,543	3.4	0.22			
種子採取用牧草	161	33	116,445	3.6	20.5	159	32.6	280
干し草用牧草	1,021	151	579,292	3.8	14.79	815.7	120.6	208
干し草用穀物	579	33	80,158	2.4	5.7	258.4	14.7	183
食用・種子用穀物	20,533	309	814,368	2.6	1.5			
その他の穀物	923	19	52,881	2.8	2.06			
コメ	51	51	618,964	12.1	100	100.6	102	165
サトウキビ	533	213	1,171,933	5.5	39.96	979.5	477	407
綿花	304	270	1,819,316	6.7	88.82	945.1	908	499
他の土地利用型作物	3,380	63	177,339	2.8	1.86			
果樹、ナッツ等	165	122	608,138	5	73.94	2,546.9	1,777	2,922
食用野菜	123	109	419,249	3.8	88.62	2,133.5	1,761	4,200
種子採取用野菜	5	5	15,142	2.9	100			
苗木、切り花、芝	16	14	66,267	4.7	87.5	768.2	737	11,122
ぶどう	163	147	591,945	4	90.18	1,508.2	1314	2,220



ご清聴ありがとうございました。